

2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 HPCシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6597 URL https://www.hpc.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小野 鉄平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 下川 健司 (TEL) 03-5446-5530
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年6月期第2四半期	3,167	—	177	—	125	—	92	—
2023年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 93百万円(—%) 2023年6月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	21.63	21.45
2023年6月期第2四半期	—	—

(注) 2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年6月期第2四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年6月期第2四半期	4,670	2,281	48.80
2023年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 2,279百万円 2023年6月期 一百万円

(注) 2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年6月期については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	7,510	—	732	—	705	—	458	—	106.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、通期の対前期の増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	4,358,500株	2023年6月期	4,358,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	65,931株	2023年6月期	65,907株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	4,292,485株	2023年6月期2Q	4,268,275株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人消費の持ち直しの動きや訪日外国人の増加など景気の緩やかな回復傾向がみられました。しかしながら、緊迫化するウクライナ情勢や中東情勢など相次ぐ地政学リスクの顕在化による資源価格の高騰、中国経済の先行き懸念、為替相場の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属するコンピューティング業界においては、計算科学シミュレーション、クラウド、人工知能(AI)、ディープラーニング、ビッグデータ処理等の技術革新に対する需要は引き続き堅調であります。デジタル化の流れは様々な分野におよんでおり、顧客のデジタルトランスフォーメーション(DX)関連投資は増加傾向にあり、当社が提供する製品・サービスなどのコンピューティングソリューションのさらなる需要拡大が期待されます。一方、世界的な生成AI開発競争が激しく、AIやスーパーコンピューター向け高性能画像処理半導体(GPU)の入手性悪化により、顧客の需要にタイムリーに対応することが難しくなる事態が想定されます。主要仕入先との連携を強化するとともに、電子部品市場の動向を把握することで、顧客の要望に沿ったコンピューティングソリューションを提供できるよう施策を進めております。

このような環境において当社は、持続的成長を支える経営基盤の強化を図るため、従来より人財の充実に注力してきました。人的資本に関する基本的な考え方として「人財グランドデザイン」を策定し、戦略的に人的資本の強化を進めております。人財強化が進んだ結果として、先端技術の知見を有する多様な技術系人財を集結することで「先端技術開発センター」を開設し、高度化する顧客の課題や要望に対する製品・サービスを提供する体制を構築しております。当社の強みである大学公官庁や民間企業など幅広い顧客基盤に対して、高付加価値の製品・サービスを提供することで、さらなる収益力強化を図っております。又、2020年5月設立のベトナム現地法人が一定の成果をあげ連結子会社化するなど、国内市場中心のビジネスモデルから海外事業の基盤強化を進めております。一方、円安進行による輸入コストの上昇、高性能画像処理半導体(GPU)の需要増加による入手性悪化などマイナスの外部要因はありますが、柔軟かつ迅速に対応することで業績向上は図っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,167,548千円、営業利益177,082千円、経常利益125,422千円、親会社株主に帰属する四半期純利益92,853千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① HPC事業

大学等公的研究機関向け、及び民間企業向けが堅調に推移した他、ベトナム現地法人が中心となり海外大型案件を受注したことで、高水準の売上を計上することができました。円安進行による輸入コストの上昇等を顧客への価格転嫁を進めているものの、価格転嫁が不十分で一部案件に低採算となるものもありました。人財強化に伴う人件費の増加もあり販売管理費は増加傾向にあるものの、セグメント利益となりました。

以上の結果、HPC事業の売上高は2,042,663千円、セグメント利益は107,670千円となりました。

② CTO事業

継続顧客向け売上は、半導体関連向けの低調を他で吸収し比較的堅調に推移しましたが、新規顧客向け売上は弱含みとなりました。採算面は円安進行により輸入コストは上昇傾向にあるものの、顧客への価格転嫁を進めたことや原材料価格も落ち着いてきたことで改善しました。営業経費の継続的な削減効果もあり、セグメント利益となりました。

以上の結果、CTO事業の売上高は1,124,885千円、セグメント利益は69,411千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,304,020千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,820,147千円、棚卸資産1,198,214千円、受取手形及び売掛金682,482千円であります。固定資産は366,154千円となりました。主な内訳は、有形固定資産169,016千円、投資その他の資産174,563千円であります。

以上の結果、総資産は4,670,174千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,925,439千円となりました。主な内訳は、短期借入金750,000千円、支払手形及び買掛金253,840千円、1年内返済予定の長期借入金326,672千円であります。固定負債は463,324千円となりました。内訳は、長期借入金が463,324千円であります。

以上の結果、負債合計は2,388,763千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,281,411千円となりました。主な内訳は、資本金230,045千円、資本剰余金349,164千円、利益剰余金1,865,967千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2023年11月13日に公表した「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」の数値から変更ありません。

今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2023年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,820,147
受取手形及び売掛金	682,482
電子記録債権	376,129
製品	51,796
仕掛品	258,884
原材料及び貯蔵品	764,807
未着品	122,726
前渡金	63,118
その他	163,926
流動資産合計	4,304,020
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	48,878
機械及び装置（純額）	89,219
車両運搬具（純額）	2,376
工具、器具及び備品（純額）	13,843
土地	14,698
有形固定資産合計	169,016
無形固定資産	
ソフトウェア	22,574
無形固定資産合計	22,574
投資その他の資産	
繰延税金資産	99,666
その他	74,896
投資その他の資産合計	174,563
固定資産合計	366,154
資産合計	4,670,174

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2023年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	253,840
短期借入金	750,000
1年内返済予定の長期借入金	326,672
未払法人税等	14,642
前受金	280,621
賞与引当金	57,797
役員賞与引当金	10,500
製品保証引当金	47,550
その他	183,815
流動負債合計	1,925,439
固定負債	
長期借入金	463,324
固定負債合計	463,324
負債合計	2,388,763
純資産の部	
株主資本	
資本金	230,045
資本剰余金	349,164
利益剰余金	1,865,967
自己株式	△165,902
株主資本合計	2,279,274
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	2,137
その他の包括利益累計額合計	2,137
純資産合計	2,281,411
負債純資産合計	4,670,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,167,548
売上原価	2,250,320
売上総利益	917,228
販売費及び一般管理費	740,146
営業利益	177,082
営業外収益	
受取利息	898
保険配当金	480
確定拠出年金返還金	605
その他	101
営業外収益合計	2,085
営業外費用	
支払利息	7,295
為替差損	32,406
支払手数料	13,862
その他	180
営業外費用合計	53,744
経常利益	125,422
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	125,422
法人税、住民税及び事業税	18,331
法人税等調整額	14,238
法人税等合計	32,569
四半期純利益	92,853
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,853

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	92,853
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	248
その他の包括利益合計	248
四半期包括利益	93,101
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	93,101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
一定時点で移転される財	1,983,028	1,124,885	3,107,914	—	3,107,914
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	59,634	—	59,634	—	59,634
顧客との契約から生じる 収益	2,042,663	1,124,885	3,167,548	—	3,167,548
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,042,663	1,124,885	3,167,548	—	3,167,548
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,042,663	1,124,885	3,167,548	—	3,167,548
セグメント利益	107,670	69,411	177,082	—	177,082

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。